



四條畷市議会だより



議長 森本 勉

議長の小部屋

そもそも議会とは何でしょうか。ここでは主に、①条例の制定②予算の定め③副市長などの選任に関する同意④意見書や決議の提出などを行っています。そして議長は、議会の代表で①公正中立な立場で民主的かつ効率的な議会運営を行い②議場の秩序を保持し、議事の整理・議会の事務を統理します。議会質問もできず、常任委員会にも所属しません。また、市内団体の催しに議会の代表として出席したり、各市議会からの視察をお迎えするなど多岐にわたります。次号につづきます。

主な掲載内容

- 02 ... 6月定例議会のあらまし／審議結果
- 03 本会議討論
- 04 議員提出議案／
総務建設常任委員会／人事案件
- 05-11 一般質問／
全国市議会議長会表彰状授与／
政務活動収支報告の公開
- 12 次回定例議会・委員会の予定等

6月定例議会のあらまし

令和6年6月定例議会は、議会期間を7日から25日までとして開会しました。

この定例議会では、報告6件、令和5年度くすのき広域連合会計歳入歳出決算の認定1件、市長及び副市長の給料及び手当の特例に関する条例の新規条例1件、四條畷市税条例などの一部改正2件、支払督促の訴訟への移行による訴えの提起1件、令和6年度一般会計補正予算(第3号)などの補正予算2件、教育委員会委員の任命1件、人権擁護委員の推薦1件、議員提出議案2件について審議を行い、すべて可決しました。

令和 6 年 6 月定例議会審議結果

全会一致で可決した議案		概要（議案の説明）
決算	令和5年度くすのき広域連合会計歳入歳出決算の認定について	歳入合計は378億1829万7千円、歳出合計は338億9911万8千円、歳入歳出差引額、実質収支ともに39億1917万9千円の黒字となった。なお、この額を事務承継市としてくすのき広域連合から引き継いでいる。
	四條畷市税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法等の一部改正に伴い、バイオマス発電設備に係る課税標準の特例措置及び一体型滞在快適性等向上事業の整備に係る課税標準の特例措置の軽減割合を定めるために、所要の改正を行う。
条例改正	四條畷市地域密着型サービス等運営委員会条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法の一部改正により、居宅介護支援事業者において介護予防支援を実施できるようになったことに伴い、介護保険の被保険者その他関係者の意見を反映させるため四條畷市地域密着型サービス等運営委員会の対象事業として介護予防支援を追加するために、所要の改正を行う。
	その他	四條畷市テナント事業者向けつなぎ資金貸付金の支払いについて、債務者から督促異議の訴えがあったため、返還を求める訴えを提起する。
補正予算	令和6年度四條畷市一般会計補正予算(第3号)	現予算から1億5642万2千円増額し、予算総額を249億3925万1千円と定める。
同意	教育委員会委員の任命について	令和6年10月11日付けをもって任期満了となる河田文氏の後任者として佐々木弥生氏を適任と認め任命する。
	人権擁護委員の推薦について	令和6年12月31日付けをもって任期満了となる歌門敬子氏を適任と認め引き続き推薦する。

○賛成、×反対、―採決に参加せず

審議した議案と議員の賛否		結果	大阪維新の会 四條畷市議会議員団			畷ビジョンの会		市議会公明党		なわて葵風会				会派に属さない議員
			土井	坂本	柳生	長畑	島	若松	吉田(涼)	吉田(裕)	渡辺	藤本	森本	岸田
補正予算	令和6年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
新規条例	市長及び副市長の給料及び手当の特例に関する条例の制定について	原案可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	○
議員提出議案	四條畷市公共施設再編に関する調査研究特別委員会の設置について	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	※	○
	令和6年度四條畷市一般会計公共施設等総合管理計画関係事務に係る事務の監査請求について	原案可決	○	○	○	○	―	○	○	○	○	○	※	○

※議長は法律により採決に参加できません。

本会議討論

令和6年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

現予算から607万3千円増額し、予算総額を56億4190万7千円と定めるものです。

反
対

会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



本補正予算には紙の健康保険証廃止のためのシステム改修費用が計上されている。マイナ保険証は毎回提示が求められ、マイナンバーは極めて重要な個

人情報であるのに持ち歩かなければならない。こんな理不尽な制度は認められない。マイナ保険証は企業のもうけや個人情報の取得など、一部の大企業の目的で進められるもので、国民が望んでいるものではないと考える。デメリットが多い目的があるものを認められない。

市長及び副市長の給料及び手当の特例に関する条例の制定

中核的施設の整備における敷地面積の相違があった事実に関し、副市長は速やかに市長に報告を行わなかったことと、市長は敷地面積の相違を把握せずに行った公の場での発言が市民に大きな混乱を生じさせた可能性を否定できないことから、市長及び副市長の本年7月に支給する給与を減額しようとするものです。

反
対

大阪維新の会 四條畷市議会議員団

柳生 駿祐 議員



公共施設再編に向け、面積の相違を知りながら、仕様書に誤りのある面積で入札公告を行い、仕様書を変更し契約を締結した。行政の事務執行は、入札契約は特に公平性、公正性、透明性を確保しなければならない。事務執行の瑕疵の有無について検証する必要があるとの思いで、会派として議案を提出しているところである。理事者側は事務執行上の問題を整理し、非違行為の有無を確認した後、に、本案の審議をすべきである。

賛
成

会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



過去の市長、副市長の給与減額という責任の取り方を見ると、今回の措置より重いケースでは、市職員による横領事件で逮捕者が出て、報道で広く市民に知られることで市政への信頼を失墜させたこと等の案件であり、法令違反の行為が明らかになった段階での処分である。今回の公共施設に係る予備調査に関しては、市民や議会の信頼を失墜させたという点は大きいものの、現段階での措置としては理解できるものとする。

四條畷市公共施設再編に関する調査研究特別委員会の設置

四條畷市公共施設再編に関する調査研究を行うため、特別委員会を設置するものです。

反
対

大阪維新の会 四條畷市議会議員団

土井 一慶 議員



公共施設再編に関する調査研究という目的での設置を提起しているが、範囲が広過ぎて議論の集結を期間内に行えないのではないかと懸念を感じ、行政の側の立場に立った期日の指定や計画なくして契約なしといった、いわゆる特別委員会設置に至る議論自体が終結していない中では、本議案に賛成することはできない。正しい手続きではなく、市と議員のみで公共施設再編を進めようとする特別委員会の設置には反対する。

反
対

畷ビジョンの会

長畑 浩則 議員



内容はタイトルそのものであり、前回のような議決を求めない点は理解できるが、調査期間は6年8月31日までとなっていることに疑問を感じる。地震大国日本では、いつ大きな地震が起こるか分からない。つまり本市の旧耐震施設の安全性を考えれば、早急に進めなければならないが、短い期間でも、計画をとめる特別委員会の2度目の設置は、今後の計画を狂わせる可能性があり、結果、市民の安心・安全を考えれば賛同するわけにはいかない。

議員提出議案

四條畷市公共施設再編に関する調査研究特別委員会を設置しました

委員は、議長を除く全議員での構成で、調査期間は6年8月31日までの継続調査とします。
本案は、賛成多数で可決しました。

令和6年度四條畷市一般会計公共施設等総合管理計画関係事務に係る事務の監査請求

6年度一般会計歳出の公共施設等総合管理計画関係事務委託料4620万円について、計画に基づいた事務執行が求められる中、中核的施設を整備するためには敷地面積が過小となる見込みを持ちながら入札契約等事務執行を行った瑕疵の有無等について検証する必要があると判断したため監査委員に対し、監査を求め、当該監査結果に関する報告を請求するものです。

本案は、賛成多数で可決しました。

総務建設常任委員会

議案第7号市長及び副市長の給料及び手当の特例に関する条例の制定

(6月24日に付託された委員会での審査概要)

本条例案は、執行部側と議会側の双方が事実確認と誤りを確認し合い、全容説明を行わなければ、本条例案の正当性及び妥当性を問うことはできないと考えている。また、計画を進めるプロセス、各種法令に違反している疑い、公平公正な入札ができていないところで、非違行為があるのではないかと疑いを持っている状況であるなど意見がありました。討論では1件の反対討論がありました。

その後、採決を行った結果、賛成多数で本委員会では原案のとおり可決となりました。

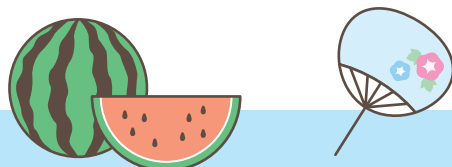
人事案件

教育委員会委員

令和6年10月11日付けをもって任期満了となる河田 文^{かわた あや}氏の後任者として佐々木 弥生^{ささき やよい}氏を適任と認め、任命することに同意しました。

人権擁護委員

令和6年12月31日付けをもって任期満了となる歌門 敬子^{かもん けいこ}氏を適任と認め、引き続き推薦することに同意しました。



一般質問

令和6年6月定例議会

1.柳生 駿祐 議員

- ため池を活用した治水対策について
- 防犯指針で防犯カメラは今後どうなる
- 人事戦略基本方針の更なる展開は

2.坂本 勇基 議員

- なわてふれあい教室の待機児童解消に向けた民間委託などへの取り組みについて
- 未来技術社会実装事業の自動運転を持続可能な事業とするための取り組みについて
- 教頭マネジメント支援員について

3.吉田 涼子 議員

- 軟骨伝導イヤホンの導入について
- 公共施設再編について
- がん患者の外見ケア(ウィッグ・乳房補装具)のサポートについて

4.若松 正治 議員

- 防犯カメラ設置について
- 自転車用ヘルメット購入補助について
- 孤独・孤立化防止のためのひきこもり支援について

5.吉田 裕彦 議員

- 家庭系ごみの収集について
- 砂地域のまちづくりにについて

6.藤本 美佐子 議員

- 出生届と出生証明書について
- 物価高騰による支援について
- 教員の自己負担について

7.岸田 敦子 議員

- 公共施設再編について
- 大阪・関西万博への学校行事としての参加について
- こども誰でも通園制度について

8.土井 一慶 議員

- 生活排水の適正処理について
- 入札・契約について
- 公共施設等総合管理計画の進捗状況について

9.渡辺 裕 議員

- 公共施設再編について

10.島 弘一 議員

- 定額減税について
- 介護保険料について
- 北谷公園の維持管理について
- 公共施設の更新について

11.長畑 浩則 議員

- 新池の都市公園化について
- 公共施設再編について



6月24、25日に、11人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。



大阪維新の会 四條畷市議会議員団

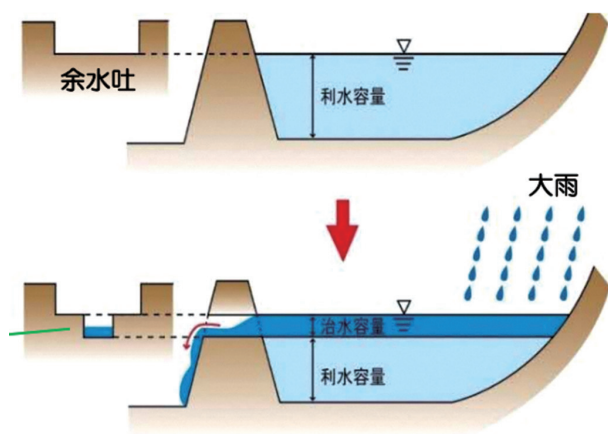
柳生 駿祐 議員



ため池を活用した治水対策について

問 室池の治水活用の事例では、約5万㎡の貯留効果があり、費用対効果は30万%を超える事業であった。より進めていく考えは。

答 水利組合と協議が整えば検討できる。



「平成29年オアシススクリーンアップキャンペーン資料」より

問 岡山新池を公園整備に活用する方向性であれば、貯留施設の建設が必要となる場合がある。ため池の持つ貯留機能を発揮しながら、公園の整備を経済的に進めてほしい。2年間もかけて、結果の出る協議ができていないが、何故か。

答 水利組合の意思を一つにまとめることが困難な状況。

問 水利組合と協議を進め、計画的に維持管理を進められる体制づくりを進めてほしい。

防犯指針で防犯カメラは今後どうなる

問 通学路における防犯カメラの設置基準は、今年度から検討をスタートした。いつまでに決めるのか。

答 今年度中に考え方を整理する方針。

問 設置数は各小学校区で相当な格差がある。今後できる設置基準で是正をするのか。要望先はどこか。

答 校区間の差の見直しは議論する。全校を同数とは想定していない。保護者、PTAの意見を学校が取りまとめ、要望先は、学校教育課を想定している。

問 順番に必要なところから、安心・安全に登下校ができるように、平等に設置を進めてほしい。



大阪維新の会 四條畷市議会議員団

坂本 勇基 議員



なわてふれあい教室の待機児童解消に向けた民間委託などへの取り組みについて

問 なわてふれあい教室の待機児童解消には、人材不足が課題であり、私はこれまで事業委託や人材派遣など、民間の協力を得て解決することの検討を要請してきたが、7年度からの具体的な取り組みについて伺う。

答 7年度からふれあい教室を民間委託により運営するよう具体的な検討を進めている。

問 田原教室を例に挙げると、本来3クラスで運用できるにもかかわらず、ふれあい指導員の人材不足で2クラスの運用である。民間委託により3クラスに戻すことは可能か。

答 田原ふれあい教室については、本年度は指導員等の不足により2クラスであったが、民間委託後は本来の定員である120人の3クラスにする予定。

問 民間委託になっても直営職員の雇用と給与面等の処遇は重要である。給与、待遇、役割、どのように取り決めるのか。

答 雇用の継続や、現在の給与等の処遇が維持されるように、民間事業者選定時の仕様書等への記載を検討したい。

問 この点については維持もしくは向上するよう努めてもらうようお願いする。

未来技術社会実装事業の自動運転を持続可能な事業とするための取り組みについて

問 未来技術社会実装事業の自動運転を「持続可能な事業」とするための取り組みとして、実装してからはどう考えているのか。

答 市の財源、ふるさと納税、企業版ふるさと納税を最大限活用しての実装をめざしていきたい。

問 企業版ふるさと納税は、寄付企業のロゴ、大きさ、位置等を自動運転カートへ表示する際の細かな規約はないように思うが、規約やルールを作ろうとは思わないのか。

答 指摘を踏まえ、内部で検討を行ってきたい。

市議会公明党
吉田 涼子 議員**軟骨伝導イヤホンの導入について**

問先日、軟骨伝導で難聴を克服するイヤホンについて、原理や効果を伺った。軟骨伝導イヤホンは耳の入り口に軽く当てるだけで、耳を塞がずに済む。コロナ禍から、今でも市役所内の窓口にはパーティションやビニールがかけられ、高齢者の人は大事な情報を窓口で大きな声で説明しなければならない場面も多いと思う。市民サービスの一つとして本市にも導入を検討してもらいたいが、いかがか。

答他市の状況等について調査研究を行っていききたい。

問貸出しについても検討してもらいたと思うが。

答導入の方法や効果のほうも含め調査研究を行っていききたい。

がん患者への外見ケア(ウィッグ、乳房補装具)のサポートについて

問がんの中で罹患者が多い順は。

答女性では、乳がん、大腸がん、肺がん、胃がん、子宮がん。

問府内のがん患者への外見ケアの助成を行っている自治体は、本市で把握しているのは幾つあるか。

答6年2月時点の府の調査では、5年度にがん患者に対するアピアランスケア助成事業を実施している自治体が19自治体、6年度に助成を予定している自治体が8自治体。

問外見ケアへの助成をする自治体が増えている現状はなぜだと思うか。

答がん医療の進歩により、治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加する中、がん治療に伴う外見の変化が、がん患者の精神的、経済的負担となり、社会生活を継続していくための支援が求められ、アピアランスケアの助成制度が増加傾向にあると考えため。

問特に乳がんの治療に用いる抗がん剤が、副作用で髪の毛が抜ける率が一番高いと聞いた。助成費用は、全国的にもそれぞれ金額が異なるが、寄り添ってもらえたというだけで当事者の心が救われると思う。市のほうで支援をしてもらいたが見解を。

答医療用ウィッグ等の補装具の購入費用助成について、国、府への要望に努めていきたい。

市議会公明党
若松 正治 議員**防犯カメラ設置について**

問安全・安心で子どもたちが遊べる環境をつくるために、通学路沿いの公園への防犯カメラの設置をすべきと訴えてきた。そのことについて伺う。

答公園は、学校所管ではないため、我々、判断が難しいと考えている。

問今後、都市計画に基づき、市を5つに分けたエリア、1つめ、青少年コミュニティ運動広場、2つめ、南中跡地、3つめ、市民活動センター、4つめ、くすの木公園、5つめ、新池防災公園検討地に配置すべきと考えるが、所見を伺う。

答地域自治組織などが防犯という目的に合わせて設置していくものと考えているので、設置に係る占用申請などがあれば、公園管理者として協力していきたいという考え。ただ、公園の立地や公園を取り巻く環境の変化などにより、施設の管理者としてカメラの設置の必要性というのが認識できた場合には、適宜検討していきたいと考えている。

孤独・孤立化防止のためのひきこもり支援について

問本市でもぜひアウトリーチ型支援、ひきこもり対策事業を委託してみてもと思うが、考えは。

答来年度、本格実施予定の重層的支援体制事業に取り入れることとしており、社会福祉協議会をはじめとした外部委託等の手法については、庁内関係課において検討を行っていききたい。

問見えない困窮者を救い出し、自立支援に向けた生活困窮、就労支援へとつながり、生き生きと生活する環境は、安心・安全のまちづくりとなり、未来をつくることになる。そこで、市長の所見を伺う。

答我々市役所業務も年々多様化をしてきており、なかなか行政だけで全てのサービスを行き届かせるというのも難しくなってきたり、専門性を有する団体に力を発揮してもらおうというのは大変重要なことかなというふうに思っている。しっかり外部委託等の検討を重ねながら、市全体として重層的支援体制の構築をめざしていきたいと考えている。



なわて葵風会
吉田 裕彦 議員



家庭系ごみの収集について

問狭隘^{きょうあい}な道路に接する住宅地におけるごみ収集の実施状況について。

答収集方法は、各戸の玄関先での戸別収集と複数の家庭で集積する場所を決めるステーション収集がある。ステーション収集の実施は、道路事情等を踏まえて、地域と市で協議のうえ、決定している。狭隘^{きょうあい}な道路に接する住宅地のごみ収集については、収集車の進入が困難なことから、多くがステーション収集となっている。

問多くがステーション収集による収集を実施しているとのこと。少なからず戸別収集も実施しているようだが、どのように収集しているか。

答ごみ収集車を転回もしくは後進させての回収、または収集員が回収して回るという方法で収集を行っている。

問ごみ収集車の回転また後退をさせての回収、または収集員が回収して回るとのことだが、安全に回収することを考えると、危険であると思うし、収集員の安心感も必要だと考える。そこで小型車を活用して回収するのも一つかと思うが、どうか。

答小型車のほうが安全で、収集することも可能と考えている。今後は事業者と協議しながら、他市の事例等も含め、調査研究が必要と考えている。

砂地域のまちづくりについて

問交野支援学校四條畷校の今後の動向について。

答北河内地域全体の在籍者数の増加への対応と、交野支援学校四條畷校の狭隘^{きょうあい}化を解消し、教育環境の改善を図るため、大阪府教育庁において6年2月に小学部の新設を含む本校化を公表され、6年4月に砂地区自治会役員等に対し、本校化決定の経緯等をはじめ、11年度のリニューアルオープンをめざした事業スケジュールを説明された。

問砂地区自治会役員等に説明された内容について。

答本校化決定の報告と本校化については、小学部の新設を含むことから大規模改修を実施していく予定であり、そのスケジュール感として、6年度に基本計画を、7年度から8年度にかけて設計業務を、9年度から10年度にかけて改修工事を行っていく予定であることの説明があった。



なわて葵風会
藤本 美佐子 議員



出生届と出生証明書について

問政府は2026年度中に導入をめざし、出生届と出生証明書を自治体の窓口に行かなくてもスマートフォンなどからオンラインで提出できる仕組みを整える。国民健康保険被保険者のマイナンバーカードの医療機関等の利用率は7.47%だが、これを上げる必要があるのではないか。

答被保険者の同意により、医療関係者とのデータ共有による受診や自身の健診結果が閲覧できるなど被保険者の健康に繋がることが期待されることから、利用率向上は重要であると考えている。

物価高騰による支援について

問市民から介護保険料も上がり、生活が厳しい。年金より物価が上回っている。商品券など一時的なものでも助かる。市に訴えてほしいなど多数の意見をもらっている。物価高騰に苦しんでいる市民に何らかの支援はできないか。

答交付金制度がない現状点においては、一時的に支援する取り組みについては、実施が困難と考えるが今後の経済状況や国・府の動向などを注視していく。

問市は企業誘致、そして古い住宅に子育て世帯が安心して移住できる対策、また若年層が市外へ転出しない施策、学生が市内で就職できる取り組み、そして四條畷の文化、景観、歴史を生かし、人を呼び込める仕組み、ふるさと納税の工夫、市保有の土地活用など、今以上に考え、税収増加に努め、交付金を持たなくても、市民が困った際は手を差し伸べることができる市になってもらいたい。市自体にしっかりと体力をつけてもらいたいことを要望する。

教員の自己負担について

問本市の教員は自己負担が生じているのか。

答教員という職業の特性上、公私の線引きが難しく、自己研鑽^{けんさん}による書籍など一部自己負担している場合もあると認識している。

問自己負担が生じないよう必要なものを申請できる仕組みを考えてはどうか。

答必要に応じて、関係部局と調整しながら、改善を図っていきたい。



会派に属さない議員
岸田 敦子 議員



公共施設再編について

問市民総合センター・保健センターの敷地面積が計画にある面積の4分の3程度であることが分かり、市として8施設統合は断念せざるを得ず、6月7日、計画見直しのたたき台が示された。面積が不正確だったことは過去の文書管理の問題も大きいと思うが、公共施設管理計画の作成時、なぜ正確な面積を測っていなかったのか。面積の測量を早めるべきでは。

答公共施設等総合管理計画策定時における敷地面積については、所管部署が整理、把握との認識から測量を見合わせ、施設整備時に実施としている。今後も費用や時間を要するため、従来どおりとしたい。

問たたき台は新しい施設を幾つもつくる案なので、費用面からも立地適正化計画を策定し、都市再生整備計画をつくるのが重要と考えるがどうか。

答立地適正化計画、都市再生整備計画の策定は、個別施設計画の上位に位置する都市計画マスタープランの改定時を機と捉え、調査研究を行っていく。

問都市再生整備計画と他の起債を合わせれば、国の補助が50%ぐらいになる見込みであり、財源確保も可能かと思う。ぜひ前向きに考えてもらいたい。

大阪・関西万博への学校行事としての参加について

問教育長協議会の要望書も、安全・安心を第一に考えての内容となっている。メタンガスによる事故の原因究明と再発防止、情報公開がなければ、子どもたちを安全・安心に行かせることはできない。安全・安心を現段階で保障されていると言えるか。

答安全・安心が担保されてないからこそ、都市教育長協議会と町村教育長会が大阪府下の市町村の教育長の意見を集約して要望されたものと認識しているので、今の段階で、安心か安全かと言われると不十分である。

問安全・安心を確認できれば、実施前の段階でやめることができることを府教委や学校に確認しておくべきではないか。

答府には、状況が変われば、学校の判断で参加をしないという選択に切り替えるのは、いつでもできると聞いている。



大阪維新の会 四條畷市議会議員団
土井 一慶 議員



入札・契約について

問本市においては、どのような入札及び契約の方法を用いられているのか。

答条件付き一般競争入札、公募型指名競争入札、指名競争入札、提案内容や技術力、企画力などで事業者を選定するプロポーザル方式や随意契約の方法。

問地方自治法第234条の規定で入札や契約を進めていっているということでしょうか。

答その趣旨によって進めている。

問法の趣旨では一般競争入札が基本と思ってよいのか。

答大原則は一般競争入札。

問プロポーザル方式とは。

答ヒアリングやプレゼンテーション等を実施し、審査及び評価を行い選定する方式。

問職員のみで構成されている選定委員会で議事録も取らず選定しているが、透明性や公平性、公正性をどのように担保しているのか。

答公正・公平に委員会の中で行ったということを私が発言するしかない。

問議事録や録音を取るなどしないと不透明だと思うが。

答今後改める必要があると認識。

問随意契約とは。

答入札によらない方式による契約。

問本市財務規則では2者以上の見積りと記載があるが、同僚議員の質問に1者しか見積もりを取っていないと答弁されていたが。

答改めて徹底する必要があると感じる。

問地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に規定されている随意契約の相手方は。

答シルバー人材センターや障がい者支援施設等。

問財務規則で、発注見通し、契約前の公表、契約後の公表とあるが、公表されていない。

答改善しなければならないと感じている。

問随意契約の制限に関する地方自治法第234条の2、同法施行令第167条の2第1項第3号の法令に違反する違法な契約と示されているが。

答庁内での議論を踏まえていきたい。

問庁内での議論の内容は随時報告してもらえるか。

答適宜報告する。



なわて葵風会
渡辺 裕 議員



公共施設再編について

問 本年6月7日に議会全員協議会において市が示した整備方針は、あらゆる可能性を検討した上で最も次世代に負担を先送りしない案と言えるか。

答 3つの基本方針をもとに取りまとめている。

問 学生やそれよりも小さな子どもたちのことを考えれば、次世代に負担を先送りしないようにすることを絶対重視すべきなのに、なぜ負担についての個別の検討をしないか。

答 次世代への負担の先送りの是非という個別の検討より、調和性を重視している。

問 市の財政はいつから悪化が予想されるか。

答 13年以降は、基金を取り崩さないと財政運営は難しくなる。

問 13年以降は、今までに貯めてきた基金を取り崩していけないと市の財政を回していくのは難しいという認識か。

答 そのとおりだ。

問 中核的施設の建設コストを市では平米約32万円、面積1万2500平米で約41億円を見込んでいるが、実勢価格に合わせた試算をするべきではないか。

答 施設内、機能、設備などを未決定の現況下、試算を行うべきでないと考える。

問 最初の平米単価を読み違えると、建設コストが大きく変わることを強く認識してもらいたい。実勢価格100万円で試算すると、1か所集約の建物で約125億円、7か所分散の建物で約209億円、つまり差額は最大で約168億円となる。この168億円もの差額を担当理事としてどう考えるか。

答 あくまで平米単価32万円(建設コストは41億円)は、現計画と比較するため用いたものである。

問 市役所東別館について、延床面積と耐震はどうなっているか。

答 延床面積2680平米、耐震の問題はない。

問 コスト面からも東別館は有効活用すべきだ。市役所、総合センター、保健センターを除いた他の施設を極力東別館に集約できれば建設コスト平米100万円を乗じた約26億円の削減効果があり得るがどう思うか。

答 使えるものは長く使っていくことは非常に重要だ。

問 民間企業なら、数字をだして判断することは当たり前の話、その視点を必ず持ってもらいたい。



畷ビジョンの会
島 弘一 議員



介護保険料について

問 府内が全国で一番高く、大阪市が全国ワースト1位、守口市2位、門真市3位と公表された。くすのき広域連合を継続していたら本市も同列に並んでいたか、併せて今後の保険料の推移はどうか。

答 第9期介護保険料は月額基準額が7,159円となり、前期と比べ411円の増となった。くすのき広域連合が継続していた場合の保険料は試算していないが、守口市、門真市の保険料が8,000円台になっていることから大幅に上昇していたと思われる。今後の保険料については、6年度から3年間は同額だが、第10期では介護を必要とする割合が高い75歳以上の人口増加により介護給付費の増が予想されるため、保険料も上昇するものと想定している。

公共施設の更新について

問 複合8施設の懸念事項の解消は難しいため、整備案のたたき台が示されたが、内容を改めて伺う。

答 市民総合センター・保健センター敷地内複合8施設の建設は可能だが、高層による隣地への影響、駐車場の確保、隣接道路の渋滞、消防車両の転回、過分な免震構造など懸念事項の解消を図る方策を見いだせないため整備方針たたき台を作成した。内容は庁舎本館北側駐車場敷地に子育て関連施設を建設。西中サブグラウンド敷地に市民総合センターの建て替えに備え公民館、図書館、福祉コミュニティセンター機能を移転。新総合センター建設後は、一部を文化財作業所として活用。南小敷地内に教育支援センターを建て替え、くすのき小敷地内に市民活動センターに設置する多目的室を立地。後は市民活動センターを取り壊し公園として整備。市民総合センター・保健センター敷地に新市民総合センター及び新こども園を建設。市役所庁舎本館、北館を取り壊し新本館を建設の後、庁内組織を集約。子育て総合支援センターが子育て関連施設へ、将来的に児童発達支援センターが新こども園へ移転し、すてっぷ★なわてに地域コミュニティ機能を設置する。また南中跡地は早期に体育館、プールを取り壊し、防災機能を有した多機能型体育館の建設並びにボール遊びができる公園の整備に続き、旧南中校舎を解体のうえ、その敷地内に楠風荘を建設する。



睨ビジョンの会
長畑 浩則 議員



新池の都市公園化について

問線状降水帯と地震が同時に起こった場合でも、新池は決壊しないのか。

答降雨、地震とも一定の想定の下、設計しているが、想定外の状況には、運用に支障のない範囲で水位の調整をするなどの対策が考えられる。

問新池の面積、岡部小学校グラウンドの面積は。

答新池28,310㎡、岡部小グラウンド8,533㎡。

問新池は岡部小グラウンドの約3.3倍もある広大な土地。他市都市公園と比較しても見劣りしないが、放っておくとこれほど危険なものはない。市民の生命と財産を守るのが市としての最大使命であるなら、早急に新池を都市公園にすることを要望する。

公共施設再編について

問こども園を市民総合センターに建てた場合、更地後の用地利用は売却しかない。そんなことをすれば、当初計画どおり現地で建て替え、たたき台で示された市民総合センター前の新こども園の場所は公開空地として欲しい。当初はそこへ仮設の建物を建て、現地でのこども園の建て替えのための仮園舎とする。そうすれば建て替え中の騒音や振動等園児への負担をなくし、建て替え工期が短縮できる。ただ、仮設の建物と言っても億を越す費用がかかるが、現地建て替え工期短縮で浮く費用や、その後も施設再編で利用すれば、それほど費用負担にはならないと思う。

そして、仮設建物が施設再編での利用を終えた時には、芝生広場として誰もが利用できる憩いの場としての提供を、また、芝生広場を中心に、市民文化祭、農業まつり、商工まつり、オクトーバーフェストのようなイベントにも利用できる、そういう空間にして欲しい。施設再編の元、何もかも縮小し施設を集めようとする中、これまで本市になかった新たな空間も作れば魅力ある街に近づくのではないかと。

本市には、耐震基準を満たしていない施設が多い。つまり、市民の安全を守るためにも施設を集約し建て替えるのは待ったなしの状態。そのような中、新たな案として行政側より示された「庁舎も市民総合センターも現地で建て替える」この点はブレずに、市民の安全を守るためにも、多くの課題を適切に解決した上で一刻も早く計画を進めるよう要望する。

大阪広域水道企業団議会議員

7月1日付けで議員の選出があり、前任期に引き続き、島 弘一議員が選出されました。

全国市議会議長会 表彰状の授与

第100回全国市議会議長会定期総会において、岸田敦子議員が長きにわたり市政の発展に尽くされた功績により、議員在職25年の特別表彰状を授与され、藤本美佐子議員が市政の振興に努められた功績により、議員在職10年の表彰状を授与されました。



25年表彰
きしだ あつこ
岸田 敦子 議員



10年表彰
ふじもと みさこ
藤本 美佐子 議員

令和5年度 政務活動費収支 報告書等の公開

本市議会では、政務活動費の収支報告への領収書等の写しの添付を義務付けし、政務活動費の支出に係る責任の所在を明確にするとともに、透明性の確保を図ることとしています。

令和5年度(5年5月から6年3月まで)の政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを、情報公開コーナー(市役所本館2階)で公開しています。また、市議会ホームページにも掲載しています。

市議会ホームページは
こちら



虚礼の廃止・寄附の禁止にご理解を！

本市議会では、本市議会議員及び後援団体の活動において、公職選挙法の規定を遵守するとともに、虚礼の廃止と寄附の禁止に関する要綱を定めていますので、市民の皆さんのご理解をお願いします。

虚礼の廃止



- 年賀状、暑中見舞状、就退任状、慶弔電報、メッセージ等の送付
- 名刺広告、協賛広告などへの掲載は禁止されています。

寄附の禁止



- 中元、歳暮の贈答品
- 慶事に対する祝金、花、酒食等
- 弔事に対する香典、楡、供花、供物等
- 就退任に対する祝金、饌別等
- 各種行事に対する寸志、粗品等の提供は禁止されています。

今後の定例議会の予定

四條畷市議会は通年会期制をとっているため、予定されている日程以外にも臨時で議会を開催することがあります

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2 本会議(9月初日) 議案審議	3 総務建設常任委員会 付託議案の審査	4 教育福祉常任委員会 付託議案の審査	5 予算決算常任委員会 付託議案の審査	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17 本会議(9月2日目) 付託議案の採決・ 一般質問	18 本会議(9月最終日) 一般質問	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	10/1	2 予算決算常任委員会 決算の審査	3 予算決算常任委員会 決算の審査	4 予算決算常任委員会 決算の審査	5
10/6	7	8	9	10	11	12

時間：原則午前10時から

場所：本会議 議場(市役所本館 3 階)

委員会 委員会室(市役所本館 3 階)

日程は変更される場合がありますので、

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎072-877-2121(代表) ☎0743-71-0330(代表)(内線222)

市のホームページで議会のようすがご覧になれます

詳細は、お手持ちの
パソコン・スマートフォンから
市ホームページの「四條畷市議会」
のコーナーをご参照ください。



こちらを
チェック！

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/site/shigikai/>

四條畷市議会

検索

インターネット中継



議会の模様をライブ配信(生中継)しています。誌面では味わえない、議場の雰囲気を感じてみましょう。

録画配信



定例議会・臨時議会の本会議などの録画映像を配信しています。

※令和6年6月定例議会の会議録の掲載は9月中旬予定

令和6年6月定例議会における議場映像ライブ配信のアクセス件数は、1,950件でした。